

# 令和3年度 経済部 施策展開方針 計画書

## 1. まちづくり政策(経済部関係分)

政策 02	政策展開の方向性
産 業	<p>地域における活発な産業活動は、雇用を創出して活気のあるまちをつくります。 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を活かした都市型農業の推進、地域の特性を活かし、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などによって地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。</p>
<b>令和3年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>	
<b>02-01 都市型農業の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続的で安定性の高い農業経営を実現するため、関係団体と連携した担い手の育成や、国・道の制度を活用した新規就農者への支援、農地の集積等に取り組みます。そのため、令和3年度は、道央農業振興公社やJA道央等と連携した担い手の育成や、国・道の制度を活用した各種支援を行います。</li> <li>・市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、それらの域内消費、市外への販路拡大を推進するため、江別産農畜産物のブランド化・イメージアップ化に取り組みます。そのため、令和3年度は、地域のブランド品を維持・拡大するための取組や、都市と農村の交流センター(えみくる)内のテストキッチンを活用して、加工新商品開発等の支援を行います。</li> <li>・農業生産基盤の安定・向上や、近年増加傾向にある鳥獣による農業被害の低減のため、農業生産基盤の計画的な整備や鳥獣被害対策の強化に取り組みます。そのため、令和3年度は、国・道事業の活用による排水路改修等の基盤整備の推進や、鳥獣被害防止に向けた取り組みを行います。</li> <li>・農業者と消費者との交流や食育活動等の実施により、地産地消を推進します。そのため、令和3年度は、都市と農村の交流センター(えみくる)等を活用して、小中学生を対象とした江別らしい食育事業や都市と農村の交流事業を行います。</li> <li>・短期の労働力を必要としている農業者が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてアルバイト先を確保することが困難となっている大学生等を雇用しやすくなるよう、必要な費用の一部を給付します。</li> </ul>	
<b>02-02 商工業の振興</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点を目指し、当該研究の推進を支援します。そのため、令和3年度は、市民の健康づくりと連携した食の臨床試験ボランティア基盤の拡大、企業における機能性食品開発促進のほか、健康経営に関する普及啓発を行います。</li> <li>・フード特区計画で掲げる食品の輸出増に向け、市内企業の海外販路拡大を支援します。そのため、令和3年度は、海外でのPR販売イベントを開催するほか、海外バイヤー等を招聘し、江別市内での商談会を開催します。</li> <li>・将来的な食関連産業の立地・集積を図るため、江別のまちをフード特区の観点からPRします。そのため、令和3年度は、都内レストランで首都圏企業等を対象に「食と健康」をテーマにしたイベントを開催します。</li> <li>・企業誘致の促進と既存企業の事業継続への支援を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の場の創出を図ります。そのため、令和3年度は、江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助制度やえべつみらいビル、RTNパークのPR活動に力を入れ、引き続き企業の立地を推進します。また、今後の工業用地の確保については、立地する企業の動向を見極めながら、地権者などとの協議を行います。</li> <li>・市内に立地する企業の連携を通して事業拡大につなげるため、市ホームページに掲載している「企業PRガイド」によって情報発信を行います。また、引き続き企業を訪問するなかで掲載企業数の拡大を図ります。</li> <li>・特産品等の販路拡大による市内企業等の経営基盤の安定やバイヤーとの繋がりによる地場産品の掘り起し・高付加価値化を図るため、商談会や催事への出展などを支援します。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化した中小企業の経営の安定性を高め、生産力向上により地域経済の活性化を図るため、令和3年度は、江別商工会議所や金融機関と連携した各種融資制度を運営するとともに、市内企業・団体による経済活性化のためのイベント開催、研修・研究活動などを支援します。</li> <li>・高齢化の進展など社会情勢の変化や地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進め、地域住民の利便性の向上や地域社会(コミュニティ)活動の拠点としての機能の向上を図るため、補助金の活用等に係る周知活動や個別相談のサポートなどを通じ、多様な主体の参入を促します。</li> <li>・就業機会の確保や職務能力向上に向けた支援を行い、市内企業が必要な人材を確保でき、求職者が希望に沿った就労ができる状態を目指します。令和3年度は、総合型就労拠点施設「江別まちなか仕事プラザ」を活用し、女性・シルバー世代を中心とする求職者と江別市内企業のマッチングを行います。また、求職者向けセミナーと合わせて企業の採用担当者向けセミナーを行うことで、求人企業・求職者の両面からの就労支援を行います。</li> </ul>	

## 02-03 観光による産業の振興

江別市観光振興計画に基づき、観光資源を活かした魅力づくり、魅力を伝える観光プロモーション、市民や事業者が実感する観光まちづくりを推進し、江別の観光振興を図ります。そのために、令和3年度は引き続き目標の実現に向けて、関係機関等と連携し、次の取組を実施します。

・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて着地型観光を推進するため、少人数単位で周遊できる仕組み作りとして、レンタサイクル事業を新たに実施するほか、市内周遊イベント事業の実施、観光イラストマップの発行などに取り組みます。

・市民・事業者の観光意識の醸成のため、観光セミナーを開催します。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンラインとするなど感染対策を踏まえた実施方法を検討します。

・食や農、歴史あるれんがややきものを持つ観光資源としての魅力・認知度を向上させるため、プロモーションイベントの開催、産業連携による地元農産物を活用した新商品開発支援、江別アンテナショップGET'S及び市民交流施設における観光案内等を活用した観光情報の発信強化に加え、江別観光協会や地域おこし協力隊と連携し、新たな観光資源の発掘、SNS等による地域イベントや地域の魅力発信の充実を図ります。

・広域観光の推進のため、加盟するさっぽろ連携中枢都市圏観光協議会での取組み（札幌市内での圏域市町村観光情報発信、圏域観光HPの作成等）や近隣市町村で作成する子ども向けスポット紹介冊子（こどもパスポート）の発行等を行います。

・観光協会が民間の観光推進体制の中心的組織となり得るよう、市から独立した法人組織化に向けた支援を行うとともに、さらなる連携強化に努め、官民協働での観光振興に取り組みます。なお、制度拡充が予定されている地域おこし協力隊とも連携し、観光協会の組織強化を目指します。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標
農産物等販売実績(JA道央江別市分のみ)	百万円	4,521	4,838	4,782	4,974	↗
製造品出荷額等	百万円	85,201	93,731	95,607	95,505	↗
観光入込客数	人	768,000	915,337	1,353,315	1,190,090	↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
1経営体あたりの平均経営面積	a	1,409	1,774	1,774	1,769	↗
えべつ農産物加工品認定数	件	0	11	11	12	↗
農村環境の保全に取り組む団体数	件	7	9	9	9	↗
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000	580,762	614,959	596,862	↗
「企業誘致推進事業」 立地企業・事業所数	社	0	4	5	1	↗
「企業立地等補助金」 補助金交付件数(累計)	件	22	30	32	34	↗
「総合特区推進事業」 食関連企業の新増設数	件	0	0	2	0	↗
「商工業活性化事業」 補助金の活用件数	件	31	10	4	10	↗
「地域発見魅力発信事業」 主要観光施設の観光入込客数	人	126,000	348,600	313,985	335,981	↗

政策 04  安全・安心	<b>政策展開の方向性</b>							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	<b>令和3年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	・消費者被害に遭わない安心して暮らせる社会を目指します。そのため、令和3年度は、消費者からの相談に迅速かつ的確な対応に努めるとともに、関係機関と連携して被害の未然防止のための啓発に取り組みます。							
	<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	<b>(初期値)</b>	<b>H29年度</b>	<b>H30年度</b>	<b>R元年度</b>	<b>目標</b>
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	81.9	83.1	85.1	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	55.9	56.2	54.2	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.5	92.9	93.3	↗
	<b>経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</b>							
「消費生活相談事業」 消費生活相談件数		件	591	740	637	689	↘	

## 2. えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	① 地域資源の発掘と活用 「江別アンテナショップGET'S管理運営事業」(観光振興課) 「地域発見魅力発信事業」(観光振興課) 「観光振興計画推進事業」(観光振興課) ② 農畜産物の高付加価値化 「都市と農村交流事業」(農業振興課) 「江別産農畜産物ブランディング事業」(農業振興課)
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	① 健康増進活動の推進 「総合特区推進事業」(参事 総合特区推進担当)

## 3. 経済部の資源

		実 績			予算額	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	2,539,157	2,012,549	2,040,160	2,098,652	2,230,977
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,539,157	2,012,549	2,040,160	2,098,652	2,230,977
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	31.00	30.00	32.20	33.00	32.00
	平均単価 (b)	7,618	7,627	7,687	7,741	7,602
	人件費 (a×b)	236,158	228,810	247,521	255,453	243,264
総 額		2,775,315	2,241,359	2,287,681	2,354,105	2,474,241